

2020年5月1日

関西電力株式会社
取締役社長 森本 孝 殿

原発問題住民運動福井県連絡会
福井市光陽3-4-18 福井民医連ビル3F
事務局 林 広員 (090-8263-6104)

関西電力・大飯、高浜原発の特別施設工事、定期点検工事を延期し 新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐことを求める申し入れ

<申し入れ主旨>

新型コロナウイルス感染症が全世界に蔓延に対し、日本政府も杉本福井県知事も、緊急事態宣言を発令して不要不急の外出自粛を呼びかけました。関西電力の高浜原発ではすでに5000名が工事を進めています。大飯原発でも5月から2000名の労働者が町に入る予定と発表しています。原発では、通常運転時で1500人規模、定期点検時には約3000人の作業員が働き、通勤時のバスの中、作業前後の放射線測定のための待機場所、脱衣所、中央制御室を含む勤務場所、休憩室などで「密閉、密集、密接(3蜜)」の環境にさらされます。原発施設の工事は業種も多く、全国各地どこの居住者かも分かりません。全国では、すでに九州電力玄海原発の特定重大事故対処施設(いわゆるテロ対策施設)の建設工事関係者や、東京電力柏崎刈羽原発に勤務する東京電力社員から感染者が見つっています。もし労働者からコロナウイルス感染が発生したら地元はもとより福井県民にも被害が広がります。原発労働者の中で感染した労働者が居住地に帰り感染を広げる可能性もあります。つきましては、福井県民と原発労働者の命と安全を第一に下記の項目で要請いたします。

<申し入れ項目>

- ① 「新型コロナウイルス」の感染拡大の中で運転中の高浜原発4号機、大飯原発3、4号機の即時停止してください。
- ② 「新型コロナウイルス」の感染拡大を防ぐために高浜原発1、2号機の特別施設工事、大飯原発3号機の定期点検工事を延期してください。
- ③ 原発の工事に係る「新型コロナウイルス」の感染拡大に不安を増大している福井県の住民に対して、住民説明会を開いてしっかり説明してください。

以上